

研究課題名	ICUにおける栄養療法と患者の予後について
研究機関名	武蔵野赤十字病院、Queen's university、他（世界234施設）
研究責任者	所属 救命救急科 氏名 安田 英人
研究期間	平成26年9月 ～ 平成27年1月
研究の意義・目的	急性期における栄養療法の必要性は認められているが、未だ大規模なデータがなく、良質の研究が行いがたい状態である。また、各施設間での差も著しい。国際的にみて当院ICUでの栄養療法がガイドラインにどれくらいそっているか、またその予後などを調べ、多施設間で比較する。
研究の方法 (対象期間含む)	<p>1. 適格基準</p> <p>ICU入室時最初の48時間で気管挿管されていたことがあり、3日以上滞在していた18歳以上の患者</p> <p>2. 観察・検査項目とスケジュール</p> <p>(1) 入室時患者の状態</p> <p>(2) 日々の観察項目</p> <p>(3) 60日後の予後もしくは生存退院率</p> <p>3. 研究期間</p> <p>平成26年9月 ～ 平成27年1月</p>
個人情報の取扱い	REDCapを利用しWeb上で登録をする。登録フォームに関しては正式に参加表明をしてから公開されるために、今現在は項目のみのピックアップとなる。データ集積後、解析が終了したら各研究責任者に対してFinal Reportが送付される。
問合せ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 救命救急科 氏名 安田 英人</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6813 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>